

北薩の輝き

地域に根ざし、キラリ輝く北薩の教育

北薩教育事務所便り

平成26年度 第3号 8月20日発行

所在地：薩摩川内市隈之城町228-1

☎：0996-20-8771

fax：0996-25-3095

豊かな心の育成を目指して

豊かな心の育成は、学校教育の大きな柱の一つです。学校、家庭及び地域における様々な活動の中で子供たちの心は豊かに育まれていきます。学校においては、豊かな心を育成するために、道徳教育や体験活動を含めた特別活動等の充実に努めているところです。

道徳教育の充実に向けては、学校教育全体で道徳教育を進めるために、教科等との関連を明らかにした指導計画と全体計画を作成し、組織的・計画的に進めていくことが大切になります。また、学校におけるいじめ防止基本方針と関連付けることも重要です。

今年度、全小・中学生に配布された『私たちの道徳』は道徳の時間だけでなく、朝の会や帰りの会、長期休業中の家庭・地域での利用等を工夫していただきたいと思います。

また、道徳教育の充実に向けて、地区道徳教育研修会を、6月4日(水)に出水市立出水小学校と出水中学校を会場として実施しました。小・中合わせて約250人の参加があり、両校の道徳教育の取組の発表や研究授業、ワークショップ型の研究協議等を通し、北薩地区の道徳教育充実の一助となったことと思います。研修会の成果が広まっていくことを期待しています。



出水小研究授業の様子



出水中研究授業の様子

フレッシュ研修(宿泊研修)

○期日 平成26年7月22日(火)～7月25日(金)

○場所 薩摩川内市立少年自然の家

鹿児島県立鶴翔高等学校

様々な体験活動を通して初任者の相互交流を深め、資質の向上を図るとともに、職責感と教育公務員としての自覚を高めることをねらいとして、平成26年度フレッシュ研修(宿泊研修)を実施しました。この研修は、小・中学校の新規採用教員だけでなく、地区内の高等学校、特別支援学校の新規採用教員も参加しました。

1日目は所長講話に引き続き、社会教育についての講義とグループ協議、2日目は鶴翔高等学校における農業体験活動及び生徒意見発表、3日目は心肺蘇生法の理論と実技及び集団行動の基本的な考え方と実技、野外活動(テント設営、野外炊飯等)、4日目にグループ協議を行いました。

3泊4日の研修を通して、初任者同士の交流を深め、教職員としての自覚を高めた研修となりました。

【研修者の感想から】(抜粋)

○ 4日間の研修が終わり、何よりも強く感じたことは同期のすばらしさと様々な校種の先生方とのつながりの大切さでした。鹿児島島の未来の教育について語り合いましたが、小学校の中だけでは得ることのできない視点を与えていただきました。そして、小学校教員としての自覚と責任感、使命感を強く感じました。

○ 2日目の農業体験学習では農業の底力を感ずることができました。作物を育てることの大切さ、そしてその恵をいただくことのありがたさなど、実際に体験しなければ感ずることのできない貴重な体験ができました。また、生き物を育てることの大変さ、命をいただくことの重みを牛の世話を通して感ずることができました。



農業体験1(田の草取り)



農業体験2(牛小屋の整美)



野外活動の様子



グループ協議の様子

信頼される教職員・学校を目指して

8月は不祥事防止強化月間です。各学校で、信頼される教職員・学校を目指して様々な取組が行われていますが、残念なことに今年度県内でこれまでに7件の懲戒処分がなされています。

教職員は、人を育てる仕事です。子供たち、保護者、そして地域の方々の心に良くも悪くも生き続けるのです。職の重さを自覚し、教育に携わる者としての誇りを持って、自らの行動規範を確立することが大切です。

【不祥事を根絶するための主な対策】

モラルの向上

- 参加型・体験型の研修の導入
- 全職員へのハンドブック等の配布
- コミュニケーションの活性化

より開かれた学校づくり

- 教職員が主体的に取り組む組織の構築
- 不祥事防止強化月間の設定
- 調査のための外部専門家の活用

働きやすい環境づくり

- 学校内の相談体制の充実
- 学校外の相談体制の充実
- 校務の適正な執行管理体制の構築

(「信頼される教職員・学校を目指して」H25. 3 鹿児島県教育委員会から)

一人一人が「鹿児島県の教職員の一員である」という意識を高め、全ての教職員、児童生徒、保護者にとって誇りの持てる学校となるよう、皆さんで取り組んでいきましょう。

北薩地区臨時的任用教員研修会

- 期日 平成26年7月25日(金)
- 場所 北薩地域振興局第2庁舎
- 内容等

本県で初めて任用された臨時的任用教員を対象に、教員としての使命感と実践的指導力を養い、幅広い知見を習得させるとともに、地域の一員としての自覚を高めることをねらいとして実施しました。研修で得たことを生かし、心構えや2学期からの教育実践が向上することを期待します。

- 研修者の感想(抜粋)
 - ・ 今回の研修会で、自分が今まで勉強不足だったということを強く感じました。
 - ・ 目標を定めて自分をより高めていくよう積極的に学びを深めていきたいと思えます。
 - ・ 教職という仕事の信用を失墜させるような行為は絶対にしないという強い気持ちを持ちました。

北薩地区ジュニア・リーダー養成事業

- 期日 平成26年6月14日(土)～15日(日)
- 場所 出水市青年の家
- 内容等

少年団体の在り方やリーダーの役割等、青少年団体における理論・方法・実技を習得し、青少年団体のリーダーとしての資質の向上を図ることをねらいとして、実施しました。

参加者は中学校1年生から高校2年生までの17人で、仲間づくりオリエンテーションなど実際に活動しながら、多くのことを習得していました。

これから各団体での活動が、更に充実することを楽しみにしています。



学校経営改善に向けて

8月5日(火) 出水市において、第2回地区校長研修会を開催しました。

下関市立川中中学校の児玉典彦校長をお招きして、「今を生きる」の演題で講演をしていただきました。病気で声帯を切除されたことを大切な縁と受け止められ、そこからの気付き・学びをお話しいただき、深い感動と感銘を受けました。



また、県教委の田崎寛二教育次長の講話も実施しました。日頃学校等だけでは聞けない別の視点からのお話をいただき、今までの見方や考え方を広げていくきっかけとなりました。

この研修会で得たことを、学校経営の改善に生かし、各学校での教育活動がますます充実することを期待しています。

8月は人権同和問題啓発強調月間です。

人権教育は、全ての教育の基本であり、各学校において、教育活動全体を通じて児童生徒の発達段階に応じ、創意工夫してこれに取り組んでいくものです。

教職員等は人権に関わりの深い特定職業従事者として、研修等の一層の取組が必要です。機会を捉えて、正しい理解と認識を深める研修が大切になってきます。自らの人権感覚を磨き、日々の教育活動を進めていただきたいと思います。